



平成25年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月13日

上場会社名 株式会社セルシード 上場取引所 東
 コード番号 7776 URL http://www.cellseed.com
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長谷川 幸雄
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役最高財務責任者 (氏名) 細野 恭史 (TEL) 03-5286-6231
 管理部門長
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第3四半期の連結業績 (平成25年1月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第3四半期	91	64.5	△321	—	△327	—	△328	—
24年12月期第3四半期	55	△16.2	△696	—	△654	—	△709	—

(注) 包括利益 25年12月期第3四半期 △276百万円(—%) 24年12月期第3四半期 △710百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第3四半期	△47.57	—
24年12月期第3四半期	△126.44	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年12月期第3四半期	1,733	1,528	57.2
24年12月期	374	94	24.4

(参考) 自己資本 25年12月期第3四半期 991百万円 24年12月期 91百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年12月期	—	0.00	—	—	—
25年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年12月期の連結業績予想 (平成25年1月1日～平成25年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	530	605.2	△245	—	△215	—	△230	—	△38.2

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年12月期3Q	7,275,419株	24年12月期	6,008,666株
② 期末自己株式数	25年12月期3Q	127株	24年12月期	66株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年12月期3Q	6,914,047株	24年12月期3Q	5,608,713株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）2ページ「連結経営成績に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
① 再生医療支援事業	2
② 細胞シート再生医療事業	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
資産、負債及び純資産の状況	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外経済の下振れが懸念されるものの、金融政策、財務政策、成長戦略の期待感などを背景に、輸出関連を中心に持ち直しの動きが見られ、景気回復へ向かうことが期待されてまいりました。

当社グループを取り巻く先端医療・再生医療分野におきましては、経済産業省から平成25年8月に「再生医療等産業化促進事業」の予算付けを行い、再生医療の実用化の基盤整備を進めるなど再生医療の産業化に向けた活発な動きが見られました。

以上のような環境の下、当社グループは、外部環境の大きな変化を活用しながら事業を推進できる財務基盤を確立すべく、その一環として平成25年9月に第10回、第11回新株予約権の発行を実施し資金調達枠を設定いたしました。また資金状況を勘案した全社的な支出統制を行いつつ再生医療支援事業及び細胞シート再生医療事業における活動を推進いたしました。その結果、両事業における先行投資を主因として、当第3四半期連結累計期間における売上高は91,252千円（前年同四半期比35,792千円の増加）、営業損失は321,029千円（前年同四半期比375,845千円の減少）、経常損失は327,360千円（前年同四半期比327,633千円の減少）、四半期純損失は328,909千円（前年同四半期比380,275千円の減少）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

①再生医療支援事業

再生医療支援事業では、引き続き温度応答性培養器材を中心とした器材販売が好調に推移いたしました。また、販売代理店と協力して認知度向上・販売促進活動や温度応答性細胞培養器材の特注商品の開発などに取り組みました。

以上のような活動の結果、売上高は74,268千円（前年同四半期比18,807千円の増加）、営業利益は391千円（前年同四半期比11,870千円の増加）となりました。

②細胞シート再生医療事業

細胞シート再生医療事業では、5つの細胞シート再生医療医薬品パイプラインに関する研究開発を推進しております。

角膜再生上皮シートパイプラインにおいては平成25年8月に経済産業省から「再生医療等産業化促進事業」を実施する委託先の一つとして当社が採択されました。当社は当該事業を通じて、我が国の再生医療製品等の優れた技術シーズを製品化させるべく、規制当局の円滑な審査に資することを目指した評価手法の開発に取り組んで参ります。

また、平成25年3月公表の「販売承認申請の取り下げを含めた欧州角膜再生上皮シート開発・事業化計画の再編成に関するお知らせ」にて記載の欧州における角膜再生上皮シート開発計画見直しの一環として実施したGENESIS Pharma SAとの販売提携契約の解消に伴い、契約締結時に獲得済みの一時金を売上高として計上いたしました。以上の結果、売上高は16,984千円（前年同四半期比16,984千円の増加）、営業損失は172,862千円（前年同四半期比274,033千円の減少）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べて1,365,031千円増加し、1,697,765千円となりました。これは主に、現金及び預金が1,341,559千円、及び前払費用が28,892千円それぞれ増加したことなどによります。

当第3四半期連結会計期間末の固定資産は、前連結会計年度末に比べて6,182千円減少し、35,333千円となりました。これは主に、平成24年12月の本社移転に伴う敷金の返還などにより、投資その他の資産が6,182千円減少したことによります。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて1,358,848千円増加し、1,733,099千円となりました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末に比べて57,796千円減少し、204,646千円となりました。これは主に、前受金が23,148千円及び未払金が39,089千円それぞれ減少したことなどによります。

当第3半期連結会計期間末の固定負債は、前連結会計年度末に比べて16,984千円減少しました。これは、GENESIS Pharma SAから獲得した一時金16,984千円を長期前受金から売上高に計上したことによります。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて74,780千円減少し、204,646千円となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて1,433,629千円増加し、1,528,452千円となりました。これは主に、新株の発行により資本金及び資本剰余金がそれぞれ588,459千円増加したものの、四半期純損失328,909千円を計上したことなどによります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年12月期の業績予想につきましては、平成25年2月14日発表の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

当社グループは、継続的に営業損失を計上してきておりますが、前連結会計年度末の手元資金（現金及び預金）残高239,525千円は想定される年間必要資金に比して著しく少ない金額でした。このことから、当社グループは前連結会計年度末において、継続企業の前提に関する重要な疑義を生じさせるような状況が存在していると判断しておりました。

この状況への対応策の一つとして当社グループは、平成24年12月27日にマイルストーン・キャピタル・マネジメント社宛に第三者割当による新株式及び第9回新株予約権を発行し、前連結会計年度に当該新株式発行により170,000千円、第9回新株予約権の行使により10,020千円を調達しておりました。さらに当期は平成25年2月1日までに第9回新株予約権の残存全権行使により640,278千円を調達いたしました。

また、平成25年9月2日に自己資本拡充と運転資金及び研究開発資金確保という課題に対応することを目的としてUBS AG ロンドン支店宛に第10回新株予約権及び第11回新株予約権を発行し、平成25年11月12日までに2,076,561千円を調達いたしました。このように財務基盤については大幅な改善を実現しておりますが、一方で細胞シート再生医療事業の重要課題である細胞シート再生医療第1号製品の早期事業化の道程を示すまでには至っておらず、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が依然として存在していると判断しております。ただし、重要な不確実性は認められないため「継続企業の前提に関する注記」の記載を解消することとしております。

当社グループは当該状況の解消を図るべく、引き続き以下の施策に取り組んでおります。

細胞シート再生医療第1号製品の早期事業化を目的とした事業提携の実現

当社グループは、引き続き複数の相手方と守秘義務契約を締結して事業提携交渉を進めております。当第3四半期連結会計期間末までに具体化したものはございませんでしたが、当社グループはこれらの交渉を通じた事業提携の実現を当該状況の解消を図る上での最優先課題と位置付けて引き続き推進していく所存です。

4 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	239,525	1,581,085
売掛金	6,804	18,816
商品及び製品	8,798	8,659
仕掛品	7,754	4,263
原材料	376	471
前払費用	35,679	64,572
その他	33,795	19,898
流動資産合計	332,734	1,697,765
固定資産		
投資その他の資産	41,515	35,333
固定資産合計	41,515	35,333
資産合計	374,250	1,733,099
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,543	1,724
未払金	57,956	18,867
未払法人税等	2,146	5,861
賞与引当金	14,895	7,447
前受金	174,891	151,743
その他	11,009	19,002
流動負債合計	262,442	204,646
固定負債		
長期前受金	16,984	—
固定負債合計	16,984	—
負債合計	279,427	204,646
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,413,696	4,002,155
資本剰余金	3,393,696	3,982,155
利益剰余金	△6,704,435	△7,033,345
自己株式	△47	△201
株主資本合計	102,909	950,764
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△11,472	40,444
その他の包括利益累計額合計	△11,472	40,444
新株予約権	3,386	537,243
純資産合計	94,823	1,528,452
負債純資産合計	374,250	1,733,099

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
売上高	55,460	91,252
売上原価	29,293	43,606
売上総利益	26,167	47,646
販売費及び一般管理費		
研究開発費	402,705	132,248
その他	320,337	236,427
販売費及び一般管理費合計	723,042	368,675
営業損失(△)	△696,874	△321,029
営業外収益		
受取利息	47	90
補助金収入	34,172	78,163
為替差益	6,550	—
その他	3,081	1,000
営業外収益合計	43,852	79,254
営業外費用		
為替差損	—	47,102
株式交付費	1,837	2,596
支払手数料	—	35,886
その他	132	—
営業外費用合計	1,970	85,585
経常損失(△)	△654,993	△327,360
特別損失		
特別退職金	51,034	—
特別損失合計	51,034	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△706,027	△327,360
法人税、住民税及び事業税	3,157	1,549
法人税等合計	3,157	1,549
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△709,185	△328,909
四半期純損失(△)	△709,185	△328,909

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△709,185	△328,909
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△1,203	51,917
その他の包括利益合計	△1,203	51,917
四半期包括利益	△710,388	△276,991
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△710,388	△276,991
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント(注)1			調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	再生医療支援 事業	細胞シート再 生医療事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	55,460	—	55,460	—	55,460
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	55,460	—	55,460	—	55,460
セグメント損失(△)	△11,478	△446,896	△458,375	△238,499	△696,874

(注) 1 再生医療支援事業は既に製品を販売して売上高を計上しておりますが、細胞シート再生医療事業は現在、事業化準備段階にありますので、売上高計上には至っておりません。

2 セグメント損失の調整額△238,499千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に親会社本社の管理部門に係る費用であります。

3 セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント(注)1			調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	再生医療支援 事業	細胞シート再 生医療事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	74,268	16,984	91,252	—	91,252
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	74,268	16,984	91,252	—	91,252
セグメント利益又は損失(△)	391	△172,862	△172,471	△148,558	△321,029

(注) 1 セグメント損失の調整額△148,558千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に親会社本社の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は新株予約権の行使により、当第3四半期連結累計期間において資本金及び資本準備金がそれぞれ588,458千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が4,002,155千円、資本準備金が3,982,155千円となっております。

(6) 重要な後発事象

(第11回新株予約権の権利行使)

当社が平成25年9月2日に発行した第11回新株予約権につき、平成25年10月1日から平成25年11月12日までの間に、以下のとおり行使されました。

(1) 新株予約権行使の概要

① 新株予約権の名称

株式会社セルシード第11回新株予約権

② 行使価格

1株あたり2,005円

(平成25年10月1日から平成25年11月12日までの間の行使価格の単純平均)

③ 行使新株予約権個数

520個

④ 行使者

UBS AG ロンドン支店

⑤ 交付株式数

520,000株

⑥ 行使価額総額

1,042,600,000円

(2) 当該新株予約権行使による発行済株式数及び資本金

① 増加する発行済株式数

520,000株

② 増加する資本金の額

524,550,000円